

なんば駅周辺

なんばえきしゅうへん

1/2

大阪府大阪市

ウォーカブル推進都市

■人口 2,815,724人

■所在地 大阪府大阪市中央区

■路線データ



その他利活用



駅前



地域資源活用 都市環境改善



ほこみち連携



地図出典：OpenStreetMap



■取組の概要

多様な商業施設や観光資源が集積するなんば駅周辺の道路空間を、官民連携で車中心の空間から人中心の空間へと再編し、新たな憩いの空間や魅力ある都市空間の創出を図る。なんば広場は、2回の社会実験を経て、「なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン」に基づき2025年に整備が完了した。その後、歩行者利便増進道路制度を活用してなんば広場マネジメント法人設立準備委員会による管理運営が開始し、デジタルサイネージを用いた広告事業や民間企業等によるイベントなどの収益事業を展開しており、持続的な体制構築をめざし、収支成立に向けた管理運営の検証を実施している。

■地域資源活用

大阪を代表する商業・観光エリアである「ミナミ」は、大型商業施設や地下街、商店街、百貨店、多種多様な飲食・物販店舗に加え、文化や観光関連の施設が集積し、国内外から多くの来訪者が訪れている。このエリアの中心に位置するなんば広場から商店街・水辺・地下街がつながるウォーカブルな空間が形成されている。

■都市環境改善

整備前のなんば駅周辺の交通手段別利用人数割合は、車利用者より歩行者の人数が多いにもかかわらず、空間としては、歩行者と車の占める面積が同程度となっていた。また、なんさん通り南北区間の歩行者交通量はコロナ禍前にはインバウンド需要とともに増加経過傾向にあり、区間の南側においては、3m未満の幅員に多くの歩行者の通行があり、自転車の通行や不法駐輪もあり、歩行者が車道を歩行している状況も確認されたため、快適で安全・安心な歩行空間の確保している。

なんば駅周辺

なんばえきしゅうへん

2/2

■都市区分 政令市

■用途地域 商業地域

■路線延長 約1km

■再整備区間 約1km

■整備年代

- ・構想・設計：2011～2023年
- ・整備（工事）：2023～2025年
- ・利活用：2025年～

■取組が位置づけられている計画、ビジョン等
 ・なんば駅周辺における空間再編推進事業整備プラン（令和4年7月）

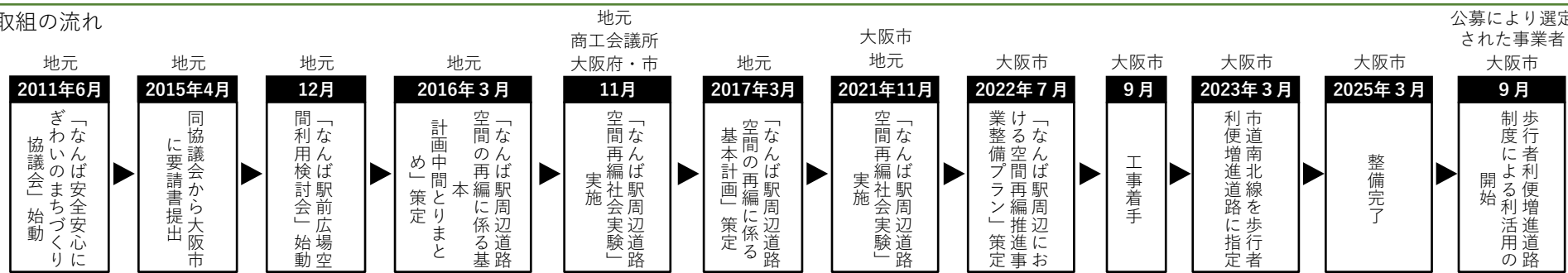
■活用した国の施策・制度

- ・都市再生整備計画事業
- ・まちなかウォークブル推進事業

■問い合わせ先

- ・計画調整局開発調整部開発計画課

■取組の流れ

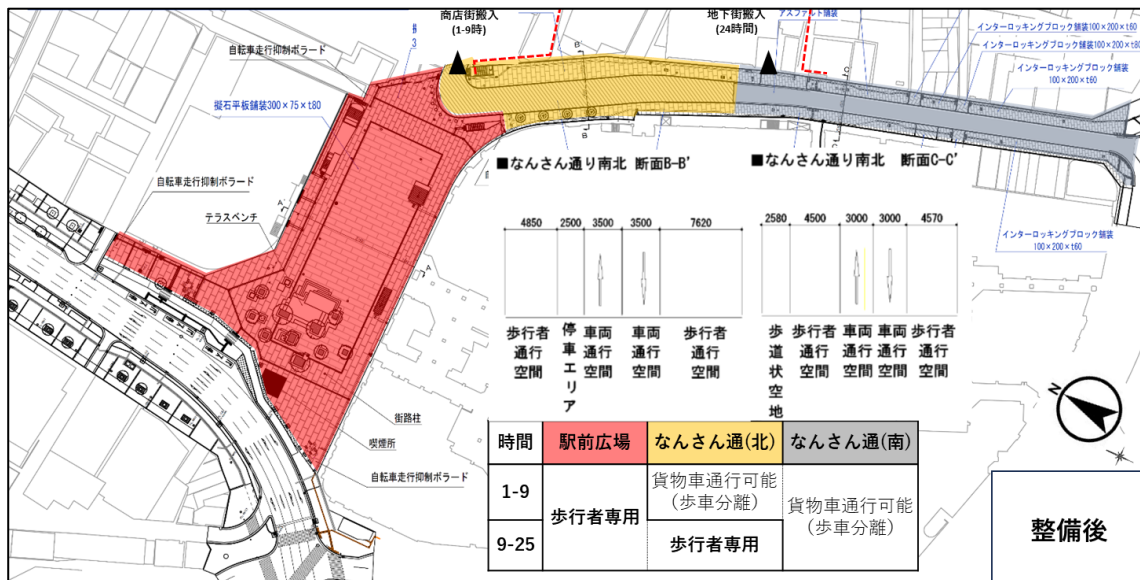


■参照資料

- ・官民連携による街路空間再構築・利活用の事例集

■参考情報リンク

[大阪市：なんば駅周辺における空間再編推進事業（…>所属別公表状況>所属別公表状況）](#)



■整備主体

- ・整備（道路空間）：大阪市

■整備・再構築状況

- ・車道空間を歩行者専用の区間へと再整備

■利活用団体

- ・なんば広場マネジメント法人設立準備委員会
 （構成員：南海電気鉄道（株）/（株）高島屋/戎橋
 筋商店街振興組合/なんさん通り商店会/（株）丸井）

■利活用状況

- ・歩行者利便増進道路制度を活用し、民間企業等が主催する多様なイベントの実施や、椅子・机の設置などにぎわい創出に寄与する空間となっております